

平成23年度 施策達成度評価シート (平成22年度実績評価)

施策の柱		施策	
コード	名称	コード	名称
3	心がつながる相互理解	34	快適な情報ネットワークの実現

施策主管部	総務部	評価者(施策統括マネージャー)名	志賀達哉
-------	-----	------------------	------

1 施策の目的(目指す姿)

対象 (誰を,何を対象としているのか)	意図 (この施策により対象をどのように変えるのか)
市民	情報の交流が確保される

2 達成度

(1)成果指標

指標名	単位	指標の性格	H21実績値	H22年度計画 (年度目標値)	H22実績値	H23計画 (年度目標値)	H26計画 (最終目標値)
市民アンケート調査「情報機器の利用で生活が便利になっている」と答えた市民の割合	%	↗	78.80	79.00	80.40	81.00	81.80

(2)近隣自治体との成果水準比較

指標名	他自治体の状況等
市民アンケート調査「情報機器の利用で生活が便利になっている」と答えた市民の割合	データなし

3 達成度評価結果

取組内容と成果、成果を得られた要因	光ファイバーやADSLなどのブロードバンドを利用できないブロードバンドゼロ地域(約400世帯)の解消については、衛星ブロードバンドの一般利用が可能となっていることから、市内全域でブロードバンドが利用できる状況となった。 また、引き続き公民館等公共施設におけるインターネット公共端末の利用サービスを行ったほか、もりおか地域SNSの運営により市民のオンライン上の情報交流を支援した。特にも、もりおか地域SNSについては、先の東日本大震災の際は、被災者の子供たちのために学用品を支援する「学び応援プロジェクト～20年後の未来のために～」というコミュニティが会員により立ち上げられ、市民のみならず他の地域SNSにも支援の輪が広がり、成果をあげた。
翌年度以降の課題、その要因	均衡ある情報通信基盤の整備のため、携帯電話については、市内東南部に残されている不感地域の解消のために、平成22年度に鉄塔整備等を進めることとしていたが、先の東日本大震災の影響で整備できなかったことから、平成23年度に実施することとしている。 また、ブロードバンドについては、利活用として地域SNSの運営を中心に進めているが、他の利活用についても検討する必要がある。

